

ナギナタガヤ (長刀茅)

名前の意味：穂の形が、長刀のように片側に反っている茅だから。

分類：単子葉類、イネ科、ナギナタガヤ属

(イネ科の栽培植物：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ原産

特徴：1カ所から斜めに立ち上がる茎、ノギ(針のような毛)の長い先が垂れる穂

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚(小さくて目で見てもよくわからない)、離弁(花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：5—7月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：カモジグサとは、茎が細いこと、小穂が小さいことで区別できる。スズメノチャヒキの小穂には長い柄があり垂れ下がる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)